

- 問1 九州地方に位置する宮崎県の面積や人口の特徴について、近畿地方の大阪府や兵庫県と比較して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------------|---|--|
| 1. 大阪府よりも面積は狭いが、兵庫県よりも人口密度は高い。 | 2. 大阪府や兵庫県よりも面積は広いが、人口密度はこれらの府県よりも低い。 | 3. 面積は大阪府よりも狭く、人口も香川県に次いで全国で最も少ない部類に入る。 | 4. 面積は兵庫県よりも広いが、総人口も大阪府より多いため人口密度は非常に高い。 |
|--------------------------------|---------------------------------------|---|--|
- 問2 沖縄県などが含まれる南西諸島の伝統的な家屋には、敷地の周囲に石垣をめぐらせたり、屋根瓦の継ぎ目を白い漆喰（しっくい）で固めたりする工夫が見られます。このような工夫がなされている理由として、地域の自然環境をふまえて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|----------------------------------|
| 1. 台風の通り道にあたるため、激しい強風によって家屋や屋根瓦が飛ばされるのを防ぐため | 2. 火山活動が活発な地域であり、降灰による屋根の崩落や生活への影響を防ぐため | 3. 夏の日差しが非常に強いため、石垣によって日陰を作り、室内の温度上昇を抑えるため | 4. 冬に吹きつける冷たい北西の季節風による室温の低下を防ぐため |
|---|---|--|----------------------------------|
- 問3 九州地方の筑紫平野に関する説明として、温暖な気候や土地の高度な利用方法の観点から、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. ビニールハウスを利用して夏野菜の成長を早める促成栽培を行い、冬の出荷額を高めている。 | 2. 稲作の収穫が終わった後の水田を裏作として活用し、小麦などを栽培する二毛作が盛んである。 | 3. 連作障害を防ぐために、数年ごとに栽培する作物を入れ替える輪作を大規模に導入している。 | 4. 1年のうちに同じ水田で2回米を収穫する二期作を行い、食料自給率の向上に貢献している。 |
|---|--|---|---|
- 問4 農業産出額が約4435億円にのぼる鹿児島県の産業統計において、その約64%にあたる約2837億円を占めている、この県の農業を象徴する部門は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------|
| 1. 大規模なかんがい施設を利用した米づくり | 2. サトウキビや茶などの工芸作物 | 3. 温室などを利用した促成栽培による野菜 | 4. 肉用牛や豚、鶏などの畜産 |
|------------------------|-------------------|-----------------------|-----------------|
- 問5 九州地方南部に位置する宮崎県の農業的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。農産物産出額の内訳や気候条件に着目して答えなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 温暖な気候を活かした畜産業が非常に盛んであり、県の農産物産出額のうち「畜産」が占める割合が約半分に達している。 | 2. 広大な平野を活用した稲作が中心であり、農産物産出額の大部分を「米」が占めている。 | 3. 冷涼な気候を利用した「抑制栽培」が盛んで、夏から秋にかけてキャベツやレタスを都市部へ出荷している。 | 4. 瀬戸内の温暖な気候を活かし、ブドウやモモなどの「果樹」の産出額が全国でもトップクラスである。 |
|--|---|--|---|
- 問6 日本の海域における海流の性質と流れについて述べた文のうち、九州の西側から日本海へ向かって流れる暖流の特徴を正しく説明しているものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. 冷たい海水がユーラシア大陸沿いに南下している | 2. 暖かい海水が太平洋沿岸に沿って北上している | 3. 暖かい海水が南西から北東の方向へ北上している | 4. 冷たい海水が千島列島付近から南下している |
|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------------|
- 問7 鹿児島県などに広がるシラス台地において、古くから稲作よりも畑作や畜産が盛んに行われてきた理由として、土壌の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 河川から運ばれた土砂が固く堆積しており、田を耕すことができないため | 2. 非常に水はけが良く、水田に必要な水を蓄えておくことが困難なため | 3. 標高が高く年間を通じて気温が低いとため、稲の成長が著しく遅れるため | 4. 土壌に含まれる塩分濃度が高く、稲の根が枯れてしまうため |
|--------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
- 問8 火山の噴火による降灰の広がり方が季節によって異なる地域において、8月には火口から北西方向の市街地側に、2月には南東方向の海側に多く灰が降る現象が見られます。この背景にある「季節風」と降灰の関係について、正しい記述を選びなさい。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 夏は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる | 2. 冬は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の南東側に運ばれやすくなる | 3. 冬は北西からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる | 4. 夏は南東からの季節風が吹くため、火山灰が火口の北西側に運ばれやすくなる |
|--|--|--|--|
- 問9 福岡県における1970年と2020年の工業統計を比較すると、鉄鋼の出荷額は約4,700億円から約9,800億円へと約2倍に増加しています。しかし、製造品出荷額全体に占める鉄鋼の「割合」は低下しました。その理由として適切な説明はどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 自動車などの輸送用機械の出荷額が、鉄鋼の増加額を下回るわずかな伸びに留まったため。 | 2. 鉄鋼の出荷額そのものが、1970年の水準を大きく下回る結果となったため。 | 3. 製造品出荷額の合計が、鉄鋼の伸びを大きく上回る5倍以上の規模にまで増加したため。 | 4. 北九州工業地帯の衰退により、福岡県全体の製造品出荷額が1970年より減少したため。 |
|--|---|---|--|
- 問10 沖縄県の産業構造が、他の都道府県と比較して第三次産業の割合が非常に高い理由として、地理的背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 内陸部に位置し、海から遠いため、海上輸送に依存しない精密機械工業や高度な情報産業が集中したため。 | 2. 広大な平野と豊かな水資源を活用した大規模な稲作が行われ、それに関連する製造業が発達したため。 | 3. 低緯度による温暖な気候やサンゴ礁などの自然資源を活かした観光業が、地域の経済を支える基幹産業となっているため。 | 4. 高緯度で冷涼な気候を活かし、大規模な機械化農業と乳製品の加工販売が一体化しているため。 |
|---|---|--|--|
- 問11 鹿児島県の自然環境と産業の特色について説明した文として、適切なものはどれですか。 (2024年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 県内の大部分が盆地で構成されており、火山灰の肥沃な土壌を活かして、ブランド米の生産が県内農業の収益の柱となっている。 | 2. 薩摩半島と大隅半島に挟まれた湾の中に桜島という活発な火山があり、周辺の台地では肉用牛や豚の飼育が盛んに行われている。 | 3. 温暖な気候を活かした促成栽培が中心であり、ピーマンやなすの生産量が日本一である一方、畜産業は小規模に留まっている。 | 4. 九州山地から流れる急流を活かした水力発電が盛んで、その安価な電力を利用して沿岸部ではアルミニウム工業が発達している。 |
|---|---|--|---|
- 問12 鹿児島県では農業産出額が全国トップクラスであるとともに、製造品出荷額の第1位を「食料品」が占めています。このように、鹿児島県の工業において食料品工業の割合が高い理由として最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 高速道路沿いに半導体工場などの先端技術産業が集積したことで、そこで働く労働者向けの冷凍食品製造が急増したため。 | 2. 大規模な港湾施設を活かして海外から安価な穀物を輸入し、臨海部のコンビナートで加工してから全国に配分しているため。 | 3. 県内で盛んな畜産業や畑作によって生産された農畜産物を原料とし、それらを加工して付加価値を高める産業が発達しているため。 | 4. 広大な平野を利用した稲作が中心であり、余った米を酒類や菓子類に加工して大都市圏へ大量に輸送する体制が整っているため。 |
|--|---|--|---|